

平成20年度 学校評価表 通信制

学校番号 81 松本筑摩高等学校

通信制教育目標	重点目標(中長期的目標)	成果と課題				
「生きる力」の育成 ～自学自習を通して～	単位取得に向けた履修継続への支援 自己実現を図るための進路指導の充実	きめ細かな個別指導を徹底するため、クラス担任と教科担任による連携、個人面接・地区面接等が昨年以上に充実した。進路希望調査結果を踏まえた進路希望の情報共有を試みた。クラス担任による出願前の企業訪問、外部の模擬テスト等を実施し成果が上がりつつある。進路に対する生徒の意識を変化させるため、卒業年次だけでなく入学時から卒業までを見通して情報の提供をしていく必要がある。				
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策と向上策
社会に対応できる学力 ・コミュニケーション能力 自己の可能性の再発見	職員研修の実施 ・添削指導の工夫・改善により単位修得率の向上を図る ・全通研・中通研等を通じ先進的な取り組みを学ぶ 個人指導の積極的な実施 ・学習指導のための個人面接・特別指導の充実 ・保護者懇談会の充実	・ていねいな添削指導を心掛け、個人面接と絡めながら各教科、個人の添削指導の工夫に努めた。 ・全通研の大会が6月に長野市で開催され全職員が役員として参加し、それぞれの分野で今後の指導に繋がる研修を深めることができた。 ・個人指導の徹底を心掛け、個人面接の充実と地区面接の改善を行った。 ・開催通知を各個人に郵送したことにより、約40名の参加者の増加に繋がった。				・他校の実践内容を、通信情報等を参考にしながら引き続き研究していく。 ・大会を通して経験した長野西校職員との交流、また全国で日々努力されている先生方の実践報告等をそれぞれの分野で今後の生徒指導・学習指導に生かしていく。中通研各教科研究会へ積極的に参加し研修を深める。 ・指導になかなか乗りきれない生徒への連絡方法や周知徹底を図る方法等、日程面と合わせて引き続き工夫検討していく必要がある。 ・更に参加者増になるよう、日程と通知方法の検討を図る。また懇談内容の検討、それに対する対応策の研究を実行していく。

領域	対象	内容	内容	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策と向上策
学習指導		・教育課程の改善 ・継続的な学習を促進する指導 ・地区昼間面接の充実 ・シラバスの活用	・二期制がメリットとなるような科目設定 ・学習意欲を持続させる個別指導 ・成就率を高める指導の一環として。 ・指導に生かすとともに生徒の役に立ったか。	・二期制の二年目を迎え、来年度に向けて選択の幅を広げるため後期科目を増やす等教育課程の見直しを行った。 ・他地区の面接に参加できるように配慮したことは良かった。				・生徒の実態を把握し、総合的な力を付けさせる教育課程の研究を進めていく。 ・地区面接の宣伝方法を工夫していく。	
		e-ラーニング	・e-ラーニングの研究	・e-ラーニングに対する理解を深めることができたか。 ・利用可能な教材研究が進んだか。	・研修会を開き、職員の理解を深めると共に、効果的な導入方法について検討することができた。 ・インターネット環境に関するアンケートを行い、生徒の実態を把握することができた。 ・全国の学校での実施状況を調査し、情報収集を進めた。 ・中通検全通研の研修会に参加し他校の取り組みを学んだ。			・引き続き情報収集・研修会を行い、効果的な導入方法について研究・検討する。	
		図書	・図書館利用度の向上	・入館者数、貸し出し数は増加したか。 ・図書館の利用度を増やすためにピーアールできたか。	・ピーアールは特にしなかったが、入館者数は2倍以上に増えた。学習室代わりに静かに勉強する生徒が増えた			・勉強だけでなく、読書する機会を増やすための指導も考えたい。	

教育活動	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 安心して学習できる環境作り 交通安全の徹底 禁煙の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 集会・HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導で生活や授業のマナーを改善できたか。 校内の巡視を徹底できたか。 昨年度に引き続き、IDカードの携帯を徹底できたか。 会誌や集会、HR等を利用して、注意を喚起し、交通マナーを向上させることができたか。 集会、HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導を通じて、喫煙の害を自覚させ、喫煙をやめさせることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 機会あるたびに生徒に訴え掛けることができた。学習活動が安定しない生徒に対するものはその限りでなかった。おおむね授業等は環境的には安全安心を確保できたと考える。 徹底までは達していないが、安全面では大きな効果があったように感じられる。 集会等での訴え、本校初めての安全教室の開講など一年を通じて努力してきた。大きな事故の報告も無かった。 最も取り扱いにくい問題で、なかなか徹底できないで終わってしまった。 			<ul style="list-style-type: none"> 問題を起こしがちなのは、学習活動が安定しない生徒に多い。それらの生徒に対する訴えを強化する工夫が必要である。校内巡視はやや形式化してきているため、内容方法の点検が必要か。 今後も改善維持していくべきである。 交通安全講話は本来の形式とは違ってしまったが、方法を工夫し実行する必要がある。 来年度は職員一体となって取り組む課題である。
	相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者の声を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の課題を共有できたか。 クラス担任との連携ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聴きながら課題を理解し、学ぶ意欲を持続させる手助けができた。 クラス担任・教科担任とも連携ができた。 不活動に入りつつある生徒をどうつなぎ止めるかが課題である。 			<ul style="list-style-type: none"> 安心できる居場所の重要性ははっきりしているのですが、その環境を提供する。 健康調査票の活用と、該当生徒・保護者との面談をする。 保護者懇談会を活用する。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導体制の確立 進学・就職指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の提供が充分できたか。 進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。 本人の希望・適性にそった指導ができたか。 事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の登校日数が少ない課程の特色から、困難を極めるが、掲示物、配布物、閲覧可能資料などを利用して情報提供に努めた。 進路希望調査の結果を職員に配布し、共通理解に努めた。 担任を中心に生徒と面接し、本人の希望をつかむようにした。 事業所説明会などに出席し、通信制の説明をした。 出願時、生徒への理解を促すために担任が企業訪問をした。 			<ul style="list-style-type: none"> 保護者も含めて、入学時からより広く機会をとらえて情報を提供する場をつくる。場合によっては郵送等の方法も考える。 保護者懇談会や受講指導などの場を利用して、卒業年次ではない生徒についても情報を提供し、本人の希望を把握する。 さらに積極的に企業への働きかけをし、通信制への理解を促す。
	生徒活動	<ul style="list-style-type: none"> 地区活動の充実 生徒会行事への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある活動ができ、参加者が増加したか。 運動会、文化祭、交流会での参加者が増加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 増加した行事もあるが全体的に参加者は減少傾向にある。 			<ul style="list-style-type: none"> 生徒主導となり、積極的な宣伝活動が必要である。行事内容の見直し、仕掛けを検討する。
		美化	<ul style="list-style-type: none"> 清掃や美化活動への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃や美化活動への参加者が増加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に較べて参加者は2割程増加して、短時間で手際よく作業できた。 		
	研修	<ul style="list-style-type: none"> 定時制との連携に向けた研究 他の通信制高校(県外を含めて)との連携・職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> 午前部・午後部・夜間部との連携について課題が明確になったか。 全通研への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 施設、行事、校務分掌の見直し等、それぞれのパートの代表を中心に検討してきたが、今後とも引き続き検討を継続していく必要あり。 全通研へ向けての職員研修を長野西の職員を講師に行い、大会を無事終了することができた。 			<ul style="list-style-type: none"> 今年度十分に時間を掛けて検討できなかった点を中心に、より完成度の高いものを目指していく。 全通研・中通研の大会参加者を中心に、校内研修会の活性化を図る。
教務		<ul style="list-style-type: none"> 係活動の活性化 職員連絡会や職員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する提案や周知徹底ができたか。 生徒指導や学習指導に役立つ情報交換ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例の職員会に加えて臨時職員会や連絡会を行い、緊急の事柄に対応し周知徹底に努めた。 学習や学校生活等で問題を抱えている生徒の様子を職員会で情報交換し、生徒指導に役立てた。 			<ul style="list-style-type: none"> 情報交換が必要となる生徒が増加し、係りの活動が増加する中で時間を有効に使った職員会の運営が課題である。

学校経営	組織運営	統計データ	<ul style="list-style-type: none"> データの管理、活用 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒情報、校務に関するデータの整理ができたか。 安全にかつ十分に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> データ入力には煩雑な作業を要するが、慎重な手順を踏まえ、安全に管理運営できた。 			<ul style="list-style-type: none"> 基本データの管理システムへの移行、新たなLAN構築の導入に伴い、スムーズな運営ができるように更に検討を重ねていく。
		視聴覚	<ul style="list-style-type: none"> 学習補助の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が見易いように撮影に工夫を凝らすことができたか。 放送視聴を有効活用させることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいビデオカメラを購入し、きれいで見易い映像を撮ることができた。 NHK高校講座を録画し、使い易いようにライブラリー化した。 			<ul style="list-style-type: none"> カメラの操作方法を理解し、様々な場面に合った撮影を心掛ける。 出席を増やすためだけでなく、普段から利用して貰えるよう働き掛ける。
		情報	<ul style="list-style-type: none"> 管理システムの十分な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で正確な最新情報を入手できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習状況が即座に確認できる環境が整いつつある。 			<ul style="list-style-type: none"> より十分な活用ができるよう、細かい設定やマニュアル作り等を進めていく。
		保健	<ul style="list-style-type: none"> より多くの生徒に対する健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が一人でも多く定期健康診断を受けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断への取組みが、全職員の協力のもと達成された。 			<ul style="list-style-type: none"> 検診時期が6月になったため、受診率が低下した。5月の早い時期に変更し受診率を上げたい。
		施設	<ul style="list-style-type: none"> 中規模教室の設置 相談室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> L教室の中規模教室への改築がなされたか。 相談室の設置場所、屋内の充実がなされたか。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれもアンケートを通じ、職員の合意を大切にしながら検討を進めた。 いずれの部屋についても、来年度からの使用法を決定することができた。 			<ul style="list-style-type: none"> 大・中規模講義室についての検討(237他) 課題の洗い出し
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 広報 	<ul style="list-style-type: none"> 本校通信制の理解を促す広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> HPや通信誌を通して、常に新しい情報を発信できたか。 生徒募集等に係り全中学校や高校に適切な資料送付や説明ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事や面接の際、情報を発信することで多くの生徒の参加を促した。 7・12月の体験入学、2月の学校説明会、地区説明会において適切な対応説明ができた。 			<ul style="list-style-type: none"> HPによる情報発信の充実を図る。中南信の中高連絡会等において、広く資料を配付する。地区説明会の充実を図る。
	渉外	<ul style="list-style-type: none"> 教育振興会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 総会、理事会への参加を役員・保護者に確実に通知できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者全員に総会の呼び掛けを行った。 			<ul style="list-style-type: none"> 保護者や職員が出席し易い日に総会を開催できるよう検討していく。 	